

放射線への不安に向き合うには？学習会

宮城の子どもの個人被ばく線量調査とリスク・コミュニケーション

東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射線の汚染について、宮城県では「宮城県健康影響に関する有識者会議」の結論、

『①「放射線の健康影響に関する学術的研究結果」、②「県南地域における放射線の積算線量」③「本県における確認検査及び福島県におけるホールボディカウンターによる内部被ばく線量の測定結果等」から、現状では健康への悪影響は考えられず、健康調査の必要性はない。』に基づき、健康調査を実施しようとはしていません。

しかし、「有識者会議の結論」は、多くの子育て中の母親・父親・県民の放射線被ばくに対する不安を一層広げる結果となりました。

放射線被ばくというリスクを負った地域で生活している私たち県民は、このリスクとどのように向き合っていけばいいのでしょうか。

東北大学の吉田浩子さんを講師に迎え学習会を開催します。ぜひ、ご参加ください。

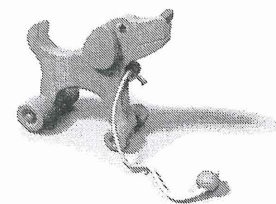
講師：東北大学大学院 吉田浩子さん

東北大学大学院薬学研究科ラジオアイソトープ研究教育センター 講師

とき：2012年3月24日（土）AM.10：00～12：00

ところ：フォレスト仙台 2F 第6会議室

参加費：500円



主催：民主教育をすすめる宮城の会（連絡先：仙台市青葉区柏木一丁目2-45 宮城県教職員組合気付）

TEL：022-234-0141 FAX：022-274-2130 Mail：ade_miyagi@yahoo.co.jp